

## 銚子ダムのはたらき

島根県隠岐支庁県土整備局  
維持管理部 管理課

銚子ダムは平成12年に竣工し、約20年の歳月が経ちます。ダム下流では隠岐の島町により寺の前公園が整備され、皆さんにより身近になった銚子ダムですが、今一度、ダムの役割についてお知らせします。

### 1. 大雨の際にダムに水を貯めます。

銚子ダムは大雨が降ると洪水をダムに貯めながら、じょうようこうすいばき常用洪水吐（通常ダムから水を流している穴）から自然放流します。

銚子ダムが洪水を貯めている間は、銚子川から八尾川本川への流入量を抑え、八尾川下流での急激な水位上昇を遅らせています。

貯めきれないほどの大雨（R3.8.9 9号台風）が降ると、常用洪水吐の自然放流では追いつかずダムの水位はどんどん上がり、ダム上部にあるひじょうようこうすいばき非常用洪水吐からあふれ出て越流していきます。

銚子ダムでは気象庁等の雨量予測をもとに「いつ越流するのか？」を予測し、隠岐の島町役場に情報提供を行います。

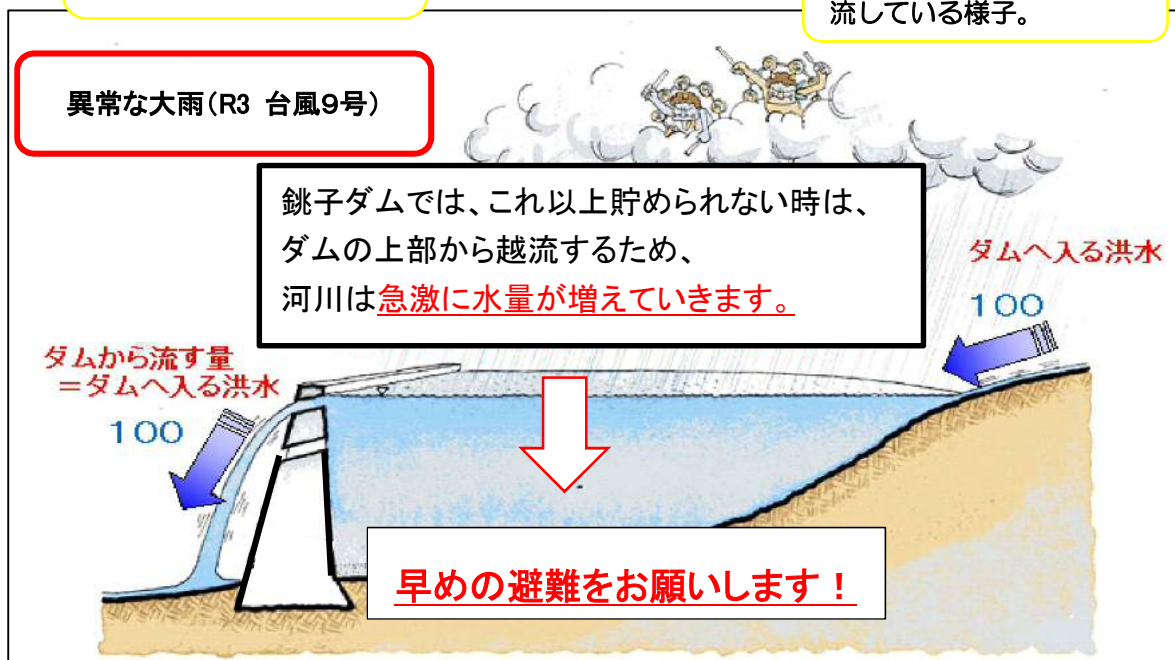
**非常用洪水吐から越流すると、下流の川では水かさが増すため非常に危険な状態になります。隠岐の島町の避難指示等の防災情報に注意して、早めの避難をお願いします。**



ダムに貯められる間は、この穴（常用洪水吐）から放流しています。ゲートはありません。



洪水を貯めきれなくなり、非常用洪水吐から越流している様子。



## 2. 水道用水の確保と河川維持のための供給を行います。

銚子ダムは105万 $\text{m}^3$ の利水容量（不特定容量96.1万 $\text{m}^3$ 、水道容量8.9万 $\text{m}^3$ ）があります。これにより安定した水道用水が確保され、水の供給によって干ばつから河川環境を守るとともに、既得取水（農業用水等）の安定化を図ります。



平成6年の渇水状況

### ※ダム豆知識

銚子ダムは昭和15年から平成3年までの雨を分析して、超過確率1/50、計画24時間雨量230mmの規模で計画されています。

【毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%）】

「年超過確率1/50の規模の洪水」とは？

- × 50年間に一度だけ発生する
- × 令和2年8月（昨年）発生したので、次に発生するのは50年後であり（今年）令和3年8月は発生しない

誤解が多いです！

- 発生した年もその翌年も発生する確率は毎年1/50である
- 50年間にその規模を超える洪水が、2回以上発生することもあれば、1回も発生しないこともある

線状降水帯の発生等で集中豪雨により非常用洪水吐から越流することもあります。越流する時間を正確に予測するのは難しいです。しかし精一杯気象関係情報の収集と洪水解析を行い、早めの情報提供するよう努めてまいりますのでよろしくお願いします。

令和2年8月7日の雨

- ・ 8月7日1時から8月9日2時まで総雨量365mm

令和3年8月9日の雨

- ・ 8月8日9時から8月10日2時まで総雨量510mm

西郷町1991年～2020年の8月の降水量の平均は、154.8mm

問い合わせ先 隠岐支庁県土整備局 維持管理部管理課

TEL：08512-2-9752

FAX：08512-2-9759